

庁 議 録

招集年月日	令和2年10月30日（金）							
開会時刻	午前9時30分	閉会時刻	午前10時30分					
開催場所	東棟401・402多目的会議室							
出席の状況（○出席者、代は代理出席）								
1	市長	○	2	副市長	○	3	教育長	○
4	総務部長	○	5	地域振興対策政策監	○	6	市長直轄理事	○
7	財務部長	○	8	市民生活部長	○	9	健康福祉部長	○
10	会計管理者	代	11	教育部長	○	12	こども部長	○
13	産業部長	○	14	建設部長	○	15	上下水道部長	○
16	議会事務局長	○						
代理出席者	会計課長							
職務のため出席した者	伊達総合支所長、梁川総合支所長、保原総合支所長、霊山総合支所長、月舘総合支所長、健康対策担当参事、都市整備担当参事、総合政策課長、秘書広報課長、農業委員会事務局長、行政委員会事務局長、人事課長、財政課長、総務課長							
案件説明のため出席した者								
付議事案 協議事項	<p>1. 開会</p> <p>2. 議事 (1) 令和2年第4回伊達市議会定例会提出議案報告について 【総務部】</p> <p>3. 報告 (1) 令和3年度予算編成方針について 【財務部】 (2) 令和2年度財政収支見通しについて 【財務部】</p> <p>4. その他 (1) 特別職主要業務予定、各部主要業務・行事予定 (11月上半期) (2) その他</p> <p>5. 閉会</p>							

会議の経過・結果

1. 開会

2. 議題

- (1) 令和2年第4回伊達市議会定例会提出議案報告について
各担当部長が、提出議案について説明した。

3. 報告

- (1) 令和3年度予算編成方針について
財務部長が、資料に基づき説明した。

【副市長】

市の税収や国からの交付税が、どれほど減額するか見通しがつかない。交付税の段階的な縮減も今年度で終了する。来年からは一本算定になり、市として独り立ちする期間に入る。現在進めている大型商業施設や工業団地など、費用はかかるが、将来的に市の人口減を止めることに繋がるような施策を進めていく。財政のシミュレーションを鑑みても、大変厳しい予算編成になると思われるが、見直しを図りながら、将来に生きる事業に投資していくようお願いしたい。

- (2) 令和2年度財政収支見通しについて
財務部長が、資料に基づき説明した。

【副市長】

工業団地等にかかる費用がまだ入っていないので、予算削減額の目標はこれから更に高くなる可能性がある。昨年度も予算編成で苦労したと思うが、ここ2、3年が山場である。大規模な事業が終了すれば落ち着いた財政になっていくと思われるので、乗り越えられるように頑張ってもらいたい。

【健康福祉部長】

施設の維持管理について、指定管理者制度の導入を進めているが、経費削減するという言葉との整合性をどのように取るかが問題である。今回指定管理者を決めるということは、3年間の方針が決定されるということだ。これらも含めて全面的な見直しをする必要がある。

【副市長】

今回の指定管理者選定を進める中で、そのような懸念も出た。指定管理者制度を必ず採用するということではなく、市にとって経費が削減可能で、尚且つきちんと指定管理者制度の効果が得られるように各部で考えていってほ

しい。

4. その他

(1) 特別職主要業務予定、各部主要業務・行事予定（11月上旬期）

- ・産業部長が、「名峰霊山紅葉トレッキング」について、職員の積極的な参加を依頼した。
- ・教育部長が、11月5日から3日間にかけて行われる「霊山地域適正規模、適正配置保護者説明会」について説明した。

(2) その他

【市長】

・コロナウイルス感染症の影響もあり、これからは地方の時代と言われている。報道によると、東京では転出超過、地方では転入超過になっている。伊達市は高速道路の開通や大型商業施設の出店、工業団地、住宅団地などの事業が進んでおり、優位な状況にあると考えているが、これらの事業をどのように発信していくかが大切である。移住・定住した人々の動向を見ると、インターネットを利用して地域についての情報を得ているようだ。伊達市は良い施策を行っているが、発信がうまく出来ていないと感じるので、皆が分かり易い発信方法をとってほしい。一つの情報を調べた際に、パッケージ型のように関連する全ての情報が出てくると良い。県内の市町村の移住・定住に関する情報をまとめるのはどうか。例えば住居に関する支援や子育て支援、就業・農業支援、商店街に対する支援、健康づくり支援など、13市の施策を一覧にすると、伊達市の施策の長所と短所が他の市と比較して分かるのではないか。

・今後、大型商業施設が誘致された場合に、市として来店者をどのように地域に周遊させるかということを考える必要がある。加えて、雇用創出によって高まるであろう住居の需要にどう応えるか、高速道路の開通により、利用されるであろう伊達中央IC付近をどのように整備するかということも今から考えていくべきである。大型商業施設や高速道路などを核にしてどのような地域を作っていくかを考えながら、事業を進めていってほしい。

・各地域でイベント等が始まっている。職員も積極的に参加してほしい。積極的な参加によって各地域が活性化し、また伊達市役所全体で応援しているというように感じていただける。

・行政手続き等で市民対応する際には、改めて丁寧な対応を心掛けてほしい。丁寧な対応というのは言葉遣いもそうだが、市の対応が何故こうなるのか、理由の説明を分かり易くすることだ。規則で決まっているというような説明では、理解を得るのは難しい。何故そのような判断になるのか、理由を市民へ丁寧に説明してほしい。

5. 閉会